

# こくさい新聞

小学5・6年生

下関市総合政策部  
国際課

電話: 083 (231) 9653

メール: sskkusa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

## 中国の小学生と国際交流!

今年の夏、約600人にのぼる中国からの修学旅行生が下関を訪れました。そして市内の小中学校でも、こども同士の交流会が行われ、多くの小学生が国際交流を体験しました。

交流会が行われたのは勝山小学校。交流に来たのは山口県と友好関係のある山東省にある歴下実験小学校と燕柳小学校の児童100人です。

### 小学校での交流会

7月10日にフェリーで下関港に到着した中国の児童は、九州を見学し10日午後、勝山小に着き体育館へ入場。勝山小は4、5、6年生の合計300人による中国民よりの「茉莉花(まつりか)」の合唱で歓迎しました。その後、中国の児童は学



下関港で歓迎



花道で大歓迎



中国のこどもたちの上手な書道(写真上)や笛(下右)を目の前で見ました。



### いろいろな特技

続いて体育館で中国の児童がいろいろな特技を見せてくれました。筆できれいな字や絵を書いたり、変わった形の笛を吹いたり、中国の伝統的な劇「京剧」も見せてくれました。勝山小の児童は初めて見

校内を見学。初めて見る日本の教室をめずらしそうに眺めていました。



授業を見学

る楽器や劇を真剣に見ていました。他にも勝山小の児童とルビックキューブを揃える速さを競ったりしました。この日は中国の児童の勝ち!でした。

### 日本の遊びで楽しく交流!

次は勝山小の出番です。日本での数の数え方「クイズ」と「ジャンケンゲーム」でしたが、ジャンケンには中国にもあり、すぐに楽しむことができました。



ノリノリでジャンケンポン!

### ことばは違っても同じ小学生

いよいよ一緒に遊ぶ時間「日本の遊び」です。勝山小の5、6年生が「茶道」「生け花」「竹馬」「けん玉」「折り紙」「福笑い」「だるま落とし」「羽根突き」「百人一首」のグループに分かれて中国の児童に遊び方を教えます。お互いに言葉が分からないので身振り、手振りで一生懸命にルールを勉強。最後には勝山小と中国の児童の全員が楽



日本と中国の児童が一緒に楽しく遊びました。

しく遊ぶことができました。言葉が分からなくても「いっしょに遊びたい」という気持ちが交流の第一歩です。

### 交流はどんどん増える

この他にも多くの中国の小学生、中学生、高校生の修学旅行団がオリエントフェリーを利用して下関を訪れ、城下町長府や赤間神宮、海響館など下関の主な観光地に訪れました。



▲下関港で初めての日本に感激! 海響館のイルカを間近に見る▼

### 外国はどんどん近くなる

下関市では現在、中学生には米国派けん、小学生には中国・韓国への派けん研修事業を行っています。将来、世界を舞台に活やくする「国際人」を目指す皆さんには良いチャンスです。しかし海外に行かなくても国際人になることはできます。今回、ご紹介した中国の小学生のように、世界の多くのこどもたちが国際人を目指して、世界各地に勉強や交流に出かけています。そして日本に来た外国人と会うことも世界を知る第一歩です。みなさんにも交流のチャンスはまだあります!

## 「青島市」ってどんなところ? 「山東省」ってどんなところ?

青島市は人口800万人を超え、北京、上海などと並び中国の10大都市に数えられる。下関市とは1979年に友好都市となって30年以上になり、いろいろな交流を続けている。青島と下関はオリエントフェリー(週2往復)で結ばれており2つの市に限らず日本と中国の国同士の人やモノの交流のかけ橋となっている。(この他のことも以前のこくさい新聞で紹介しています。)

山東省は中国の東北地方にあり、人口9千万人以上。「省」は日本で言えば「県」にあたるもので、山東省は山口県と1982年に友好関係を結んでいる。



地名をくらべる  
中国 — 日本  
山東省 — 山口県  
青島市 — 下関市

## なぜ日本に来たの?

最近、中国の名前はテレビニュースでよく聞くと思います。そしてその中国の子どもも将来、世界で活躍するため世界に勉強に出かける人が増えています。日本は中国と同じアジアにあり世界の中でも先進国(=発展した国)とされています。さらに日本は中国とむかしから交流があり、漢字を使うことなど深い関係があります。このように、中国から見れば身近にある先進国で、共通の文化もある日本で研修することは大変勉強になると考えられています。さらに最近では中国でも日本のアニメ(「ポケモン」「ワンピース」)やゲームなどはやっていて、日本に興味を持つ子どももたくさんいます。